

## &lt;2030年のSDGs達成に向けた経営方針等&gt;

弊社の経営理念である『地域社会への貢献』『継続性のある会社』の中には、自社の活動を通じ多面的に地域環境・地域社会・地域経済に継続的に貢献していくという意味であります。この点については、SDGsとも共通した目標であり、【ひとつづくり】企業として弊社でしかご提案できない付加価値を見出しながら、全社員が目標に向かってSDGsの達成に取り組んでまいります。

## &lt;今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績&gt;

| 三側面   | 取組の状況  | 前期の指標   | 実績   |
|---|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 環境<br><input type="checkbox"/> 社会<br><input type="checkbox"/> 経済            | <p>自社工場内に高品質浄化槽設備の設置を行い、地域河川に排出する水を有害な化学物質のないものとし、浄化槽設備から排出する水を工場内に引き込み再利用することで使用する水量を減らしている。</p> <p>また、本来は廃棄する製品を弊社にて預かり、地域企業と連携し再生可能な樹脂ペレットを生成し、各種製品として再生利用している。</p> <p>【例：飼料を入れるトランスバッグはポロシャツへ再生し事業所のユニホームとしている】</p>  | <p>自社工場において、本来廃棄する製品を預かり地域企業との連携強化。再生可能な樹脂ペレットを生成し、新たな製品として再生利用促進。(再生利用率90%を目標とする)</p>  | <p>2025年の1年間において【フレコンバッグ：約184t、プラパレット：約18t、ビニール：約1t】を処理工場へ委託し有価物として処理。樹脂ペレットや加工後、主にパレットやプラスチック製品へ加工されている。処理トン数のうち、約80%が再生利用。</p>                 |
| <input type="checkbox"/> 環境<br><input checked="" type="checkbox"/> 社会<br><input checked="" type="checkbox"/> 経済 | <p>働きがいを得て経済成長を進めるべく、年齢・性別・国籍・人種に関わらず様々な方を雇用している。【2022.11時点で60歳以上の雇用61名(9.6%)外国人の雇用92名(14.5%) ※鹿児島県内在住者のみで算出】</p> <p>子育て世代への理解を呼びかけ、ワークライフバランスが整うようにテレワークや育児時短勤務、半日有休の取得を可能としている。また、障害者雇用も積極的に行い、雇用体験や職場体験の受け入れ、「精神発達障害しごとサポーター」の出前講座を受講して受入れ前に知識を習得するなどの工夫。</p> | <p>子育て世代や高齢者、障害者、外国籍の雇用を引き続き積極的に行うとともに、受け入れる側の研修やコミュニケーション能力を向上させるための講習等を受講。ワークライフバランスの実現を目標とし、男性の育休取得のための勉強会を実施、女性の管理職30%を目指す。</p> | <p>【2025.12末時点で60歳以上の雇用82名(全体の7.5%)外国人の雇用142名(全体の13.1%)】【※鹿児島県内在籍対象者を全体数で割り、算出したもの】どちらも人数は増えている。なお、女性の管理職割合は13.6%で、目標に未達であった。講習等の受講は計画的に出来た。</p> |
| <input type="checkbox"/> 環境<br><input checked="" type="checkbox"/> 社会<br><input type="checkbox"/> 経済            | <p>健康経営を目指すため、定期健康診断の際、希望者はオプション検査を実施、費用を一部会社負担としている。産業医・保健師と連携して再検査の必要な社員への声掛けや、退職後の復職面談の実施など、管理者を巻き込んで健康意識を高めるようにしている。また、インフルエンザ予防接種は福利厚生の一環として全額会社が補助している。</p>  | <p>定期健診後のフォローアップを強化。産業医による就業判定において「要受診勧奨者」「就業判定保留者」について、3カ月以内の再判定と保健師・産業医との面談により受診勧奨放置者をゼロにする。</p>                                  | <p>定期健診後の産業医就業判定による対象者は管理者及び職場巡視時に保健師から声掛けを行い二次検診結果の提出を促した。事業所や派遣先により定期健診の実施時期が異なるため【対象者ゼロ】であった期間は無かったが、確実に放置者は減少。</p>                           |

- ・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

プラ製品の再生利用については、初めての試みであったため目標達成水準が予想しづらく90%としていたが、廃棄前提のものであり80%の再生利用でも十分高水準であった。以後はこの水準を保つようにする。雇用に関しては年齢・性別・国籍・人種に関わらない採用も出来ていたものの女性管理職の人数は変わらず、部署も限定されていることから現実的な目標では無かったと考える。今後は既存社員をどのようにキャリアアップさせるか、改めて組み立てる必要がある。健康経営に関しては意識の高い事業所とそうでない事業所で大きく差が出ている。各責任者が雇用する側としての責任を考え、意識改革することも必要である。

- ・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組、及び指標>

| 三側面   | SDGsに関する重点的な取組   | 指標<br>(更新時に向けた数値目標)  |
|---|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 環境<br><input type="checkbox"/> 社会<br><input type="checkbox"/> 経済            | <p>自社工場内に高品質浄化槽設備の設置を行い、地域河川に排出する水を有害な化学物質のないものとし、浄化槽設備から排出する水を工場内に引き込み再利用することで使用する水量を減らしている。</p> <p>また、本来は廃棄する製品を弊社にて預かり、地域企業と連携し再生可能な樹脂ペレットを生成し、各種製品として再生利用している。<br/>【例:フレコンバッグやプラスチック製品がパレットなどの製品に再利用されている。】</p>  | <p>自社工場において、本来廃棄する製品を預かり地域企業との連携強化。再生可能な樹脂ペレットを生成し、新たな製品として再生利用促進。(再生利用率 80%以上の継続を目標とする)</p>   |
| <input type="checkbox"/> 環境<br><input checked="" type="checkbox"/> 社会<br><input checked="" type="checkbox"/> 経済 | <p>働きがいを得て経済成長を進めるべく、年齢・性別・国籍・人種に関わらず様々な方を雇用している。【2025.12 末時点で 60 歳以上の雇用 82 名(県内における雇用割合 13.5%)外国人の雇用 142 名(県内における雇用割合 23.3%) ※鹿児島県内在籍対象者のみで算出したもの】</p> <p>子育て世代への理解を呼びかけ、ワークライフバランスが整うようにテレワークや育児時短勤務、半日有休の取得を可能としている。また、障害者雇用も積極的に行い、雇用体験や職場体験の受け入れ、「精神発達障害しごとサポーター」の出前講座を受講して受入れ前に知識を習得するなどの工夫。</p> | <p>子育て世代や高齢者、障害者、外国籍の雇用を引き続き積極的に行う。事業所間で連携を図り、各人の状況に合わせて異なる異動や就業スタイルで雇用の確保と維持に努める。</p> <p>育児や介護による退職を最小限にするよう、制度の周知や個別相談をおこなう。育児・介護による休業後の復職95%を目標とする。</p> |
| <input type="checkbox"/> 環境<br><input checked="" type="checkbox"/> 社会<br><input type="checkbox"/> 経済            | <p>産業医・保健師と連携して再検査の必要な社員への声掛けや、退職後の復職面談の実施など、管理者を巻き込んで健康意識を高めるようにしている。また、インフルエンザ予防接種は福利厚生の一環として全額会社が補助する。</p>  | <p>定期健診後のフォローアップを強化。産業医による就業判定において「就業判定保留者」の未受診は必ずゼロにする。</p>   |

- ・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

2022年11月鹿児島市 SDGs推進パートナーへ登録

2024年6月薩摩川内 SDGsチャレンジパートナーへ登録

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。